町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課　第４５５号
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回

6
2006



「勝山小で苗づくり」



５月１５日、勝山小学校で稲作体験の最初の作業である、苗づくりが行われました。

勝山小は今年で稲作体験は４回目になります。福原さん、加藤さん、三浦さんの３人の田んぼの先生を迎え、「前年以上に育つように皆で力を合わせて頑張っていきましょう！」と田んぼの先生から話があり、校長先生からも、「皆が美味しく食べるお米は、田植え、稲刈などの作業のほか、品質管理など農家の方が苦労して作っています。皆もそれを体験して、収穫祭ではおいしいお餅を食べましょう。」とお話がありました。今日の作業で出来る苗は６月８日に行われる田植で使われる予定です。

春の叙勲

福岡武氏に瑞宝単光章



灯台を背に喜びを語ってくれた福岡さん

平成１８年春の叙勲で、福岡　武氏（町区）が瑞宝単光章を受章されました。

福岡さんは、勝山浮島灯台や勝山漁港の入り口にある２つの防波堤灯台の監視をしています。灯台灯火監視協力者は、海上保安部が灯火を確認できない灯台を監視するのが役目。３６５日休みなしでボランティア活動をしています。

本業のプロパンガスの保安点検を終えた日没後、自転車に乗って自宅から約３００m離れた勝山漁港から灯台を監視しています。台風の時は、風が弱まった時を見計らって車で確認。異常があれば、千葉海上保安部へ連絡するが、異常があるのは年に１度あるかないかとのこと。「長年やってきたことが認められてうれしい」と話してくれました。

水仙まつり写真コンクール入賞者決定！



【最優秀】　「早春」　岡田 志郎



【優秀】「早春の日だまり」中山　英樹



【優秀】「水仙の里」　長谷川 忠作



【入選】「水仙の中の二人」
安藤　十三男



【入選】　「見返り美人」
石井　一雄



【入選】　「おすまし」
河合　芳男



【入選】「をくづれの郷満開」
緩鹿　利夫



【入選】　「早春」
浦　弘美

水仙まつり写真コンクール入選者決定

鋸南町観光協会（髙橋喜安会長）主催による「水仙まつり写真コンクール」の審査会が中央公民館で行われ、入選作品が決定されました。

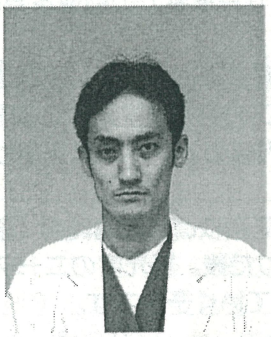
同コンクールは、１２月１７日から１月３１日まで開催された水仙まつりの関連行事として行われたもので、今年は県内外から１７０点の応募がありました。

審査には、主催者をはじめ関係者があたり、入選作品３０点を選びました。審査の結果、最優秀賞には、岡田志郎さん（君津市）の作品「早春」が選ばれました。

このほか優秀賞２点と入選５点、特別賞２２点が選ばれています。

鋸南病院の新しい先生を紹介します

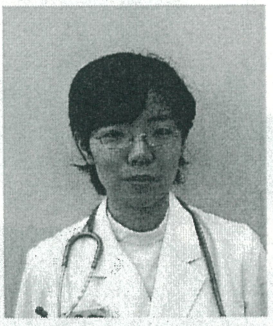
地域医療の中核を担い、健康で暮らせるまちづくりに欠かせない、医療の充実を図るために2名の医師が新たに勤務されました。病院等で見かけましたら、気軽に声をかけて下さい。



今村　大朗医師

４月１日から鋸南病院の外科医師として勤務している今村です。
出身は富津市です。聖マリアンナ医科大学病院に勤務しておりました。このたび、鋸南町に勤務することになり、地域医療に貢献できればと考えています。
専門は一般・消化器外科ですが、他に外科系疾患も診ています。
どうぞ、よろしくお願いします。

「プロフィール」　（医師歴　１０年目）
〔出身大学〕　聖マリアンナ医科大学
〔職　　歴〕　聖マリアンナ医科大学病院
聖ヨゼフ病院
諏訪中央病院
〔趣味〕ドライブ
バスケットボール
釣り



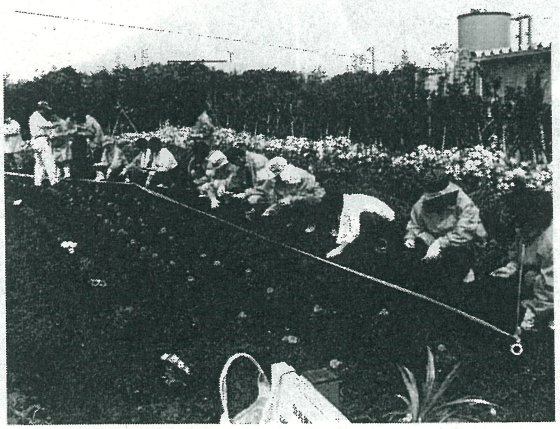
能重　美穂医師

５月１日から鋸南病院の内科医師として勤務している能重です。
出身は東庄町です。前は南房総市立国保富山病院に勤務していました。このたび、鋸南町に勤務することになり、患者様により多くの手助けができるように頑張りたいです。
どうぞ、よろしくお願いします。

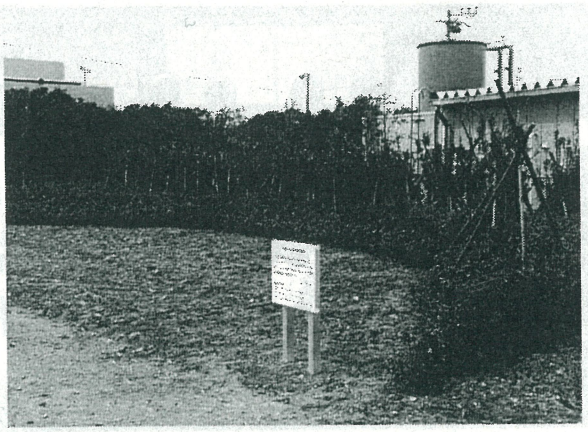
「プロフィール」　（医師歴　７年目）
〔出身大学〕　自治医科大学
〔職　　歴〕　船橋市立医療センター
南房総市立国保富山病院
〔趣味〕ピアノ
サックス演奏

「見返りの里」に新たな顔

南房総の玄関口に位置する道の駅「見返りの里」の入口に花壇が整備されました。
この花壇は、(社)ゴルファー緑化促進協力会からの緑化協力金により、(社)千葉県緑化推進委員会が設置したもので、ツツジやマサキなど７種類の樹木７８０本が植樹されています。
この花壇に、地域ぐるみ子育て推進委員会（篠原茂幸会長）が進める、花のボランティア２０人が、訪れる観光客や町民の皆さんを色鮮やかな花々で迎えたいと、植栽活動を行いました。当日は初夏を思わせる好天気で汗ばむほどでしたが、参加した会員は、やがて咲く花々を思いながら、楽しく作業をしました。
植栽された花は、マツバギク、ペチュニア、マリーゴールドでヒマワリの種も蒔きました。夏になれば、ヒマワリも含め華やかな花壇となり、「見返りの里」の新しいシンボルとなればと願っています。
花のボランティアでは、毎月第１、第３日曜に、花壇の手入れなどを中心に活動しています。参加希望の方、お問い合わせは、教育委員会内事務局（℡５５―２１２０）までご連絡をお願いします



植栽に汗を流す花ボラメンバー



整備された花壇

地域づくりアドバイザー事業

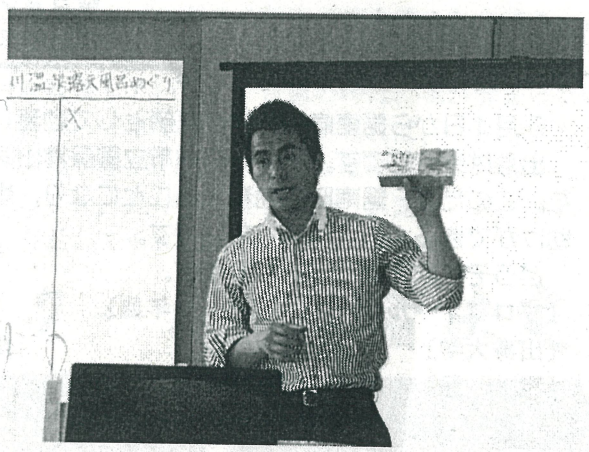
地域振興課まちづくり推進室では、財団法人地域活性化センター「地域づくりアドバイザー事業」の助成を受け、賑わいのあるまちづくりワークショップを開催。

ワークショップとは住民の方がまちづくりに主体的に参加する会議で、参加者が自由に意見を出し合い、創意工夫があり、参加者の相互理解や合意形成に重点がおかれるまちづくりの手法。ワークショップの中でまず地域の課題・問題点を見つけ、それをテーマに話し合い、次に課題を解決していく為の方策について専門家のアドバイスを受けます。昨年度は、有志で出資し道の駅に農水産物直売所を立ち上げました。

今年度は、道の駅関係者を中心に観光協会・商工会を含めたメンバーで道の駅観光マップ作りと特産品開発（道の駅弁作り）の２つをテーマに開催。アドバイザーの浅尾氏から事例紹介・レクチャーを受けた後、観光客のニーズの分析を行った。この分析結果をもとに、アドバイザーの助言を受けながら今後会議を進めていく予定です。



分析作業を行う参加者



食で一番重要な用件って何？

鋸南町つどい大会 保田小桃色チーム優勝！

５月２１日（日）B&G 海洋センターを会場に小学４年生～６年生７８名が参加し、「鋸南町つどい大会」が実施されました。子どもたちの親睦と青少年相談員との交流を目的にドッジボールを行いました。当日は５チームにわかれ子どもたちのハツラツとした試合を見ることができ、応援にかけつけた保護者の方々も大きな声援を送っていました。大会は、保田小桃色チームが見事優勝をしました。尚、大会終了後、６月１７日（土）に館山市で開催される「少年の日・地域のつどい安房地区大会」の予選を３小学校のリーグ戦で行い、勝山小学校が町の代表として出場することとなりました。



優勝した保田小桃チーム

味わいハイク（１５）花摘み体験

風薫る５月、今回は鋸南の海・花・歴史を一度に味わうことができるコースでした。役場を出発してから嶺岡林道へ向かい高台から郡境の町並みを眺め風に吹かれながら竜島の堰の傍を通り鱚ヶ浦海岸に到着しました。海風を感じながら道の駅「きょなん」まで海岸線を歩き、菱川師宣記念館では特別展の説明を笹生学芸員から聞きました。物産センターの八佐丸でとっとまん（あじまんじゅう）を味わい、次はカーネーションの花摘み体験。花もだんごも・・・と欲張りコース、どこからか鋸南町音頭の一唱節「心と心のふれあいが鋸南は絵の町・海の町・歌の町」と・・聞こえてくるような１日でした。



鱚ケ浦の海岸線を歩いている一行

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（51）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味 ②最近心に感じた事やうれしかったこと ③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。

①１３年前に愛知県から主人の実家に転居してきました。こちらに来て屋号があり、お顔と名字が一致するのに大変苦労しましたが、今は環境にも慣れ、海のパン、としまや弁当を経て現在おどやにてレジを担当しており、明るく笑顔でお客様に接することが出来る様に心がけております。趣味は、ナンバープレースで、今、夢中になっています。
②長女は、柏の方で小学校教諭をして３年目を向え、先日「教職課程」という本に２度コメントが載ったので嬉しく思いました。次女は、館山の美容室で働きながら通信教育で勉強して美容師を目指しているので早く資格が取れる事を期待しています。
③鋸南町は山があり、転居して来た頃よりは海がすごくきれいになったと思いますので、この自然を壊さないように大切にし、また、街灯がほしい所や不審者などの情報もあったりしますので、安心して住みやすい町にしてほしいと願っております。



三瓶　友子さん（本郷上区・パート）

次回は塚越　美穂さん（両向区）へバトンタッチされます。



青木　崇さん（両向区・団体職員）

次回は青木　伸幸さん（田町区）へバトンタッチされます。

①ＪＡに勤務しています。ＪＡ共済《ひと・いえ・くるま》の総合保障の中で、自動車共済の損害調査スタッフをしています。不特定な方々との出会い？のある業務なので、特に言葉遣いには注意をしていますが、ついつい勝山弁が出てしまう今日この頃です。
②１５年間の消防団活動を終え、先日『銀杯』を頂きました。空けてみたところ、桐の箱に入っており、中は何重にも包まれており、途中で見るのを諦めました。
③我が家の三人娘も、わが母校に元気に通っております。自分が巣立ってきた母校で娘も巣立つということは、とても幸せに感じます。長女は明日からの修学旅行に心はずませております。自分も２５年前を振り返ったりしました。そんな中で、ある程度具体化しているようですが、小学校校舎建設の早期実現をお願いいたします。

善意の寄付

陸上自衛隊第一空挺団第１５５期空挺レンジャー学生一同
１０，０００円　景観整備寄付金

飯田　幸夫さん　１００，０００円　社会福祉寄付金

三富　きよ子さん　１００，０００円　社会福祉寄付金

根来　利幸さん　５０，０００円
勝山小学校建設基金寄付金

文芸

しとしとと春の雨降る
独り居の聞くにもあらぬ
テレビみる
中村　玲子

子の植ゑし
早苗も青田と育ちたり
梅雨の晴れ間に畔草を刈る
中山　弘子

峡に住む友
摘みくれし蕗の薹
ふるればやわくわが掌に
森　ユキ

家庭教育通信すくすく No.59

『自分で考えて行動できる子に』

今月は、先月に引き続いて、親が子どもによく言ってしまう言葉について、例をあげてお話ししたいと思います。

◎出かける時支度が遅い子に。

親「何をしているの、早くしなさい。」

子（なかなか支度ができない）

親「早くしないと遅れるよ。先に行くからね。」

親の都合で「早く早く」と言われても、すぐに支度はできません。「早く」を具体的に示してあげましょう。

※「後、○分で出かけるけど支度できる？」

※「○○が終わったら、出かけようね。」など。

出かけるまでにどれくらいの時間かわかれば、子どもも自分なりに支度を考えられるようになります。

◎「どうすればいい？」とすぐ聞く子に。

子「○ちゃんとけんかしちゃった、どうすればいい？」

親「どうすればって、仲直りしましょうって言えばいいんじゃないの。」

子「だって。」

親「しっかりしてよ。自分の事なんだから。」

自分の判断に自信がないときや不安があるとき、子どもは「どうしたらいいの」と親から安心を得ようとします。そんな時はつきはなさないで下さい。

※「そうね、困るね。○ちゃんはどう思っているかしら。」

※「あなたは、どうなればいいと思うの。」

「どうすればいいの」と聞いてきたら、よく話を聞いてあげましょう。

子どもにどうしたいのかを聞くと同時に相手の気持ちはどうか考えること、自分だったらどうしたいかなどいろいろ質問してあげましょう。

◎自分でやらずに「やって、やって」と言う子に。

子「ねえ、これ、わからないからやって、やって。」

親「さっきからそればっかり、うるさいよ。」

子「だって、わからないんだもの。」

親「自分で考えてやりなよ。」

「やって」と言われると「自分でやりなさい」と突き放したり、「仕方がないわね」と親がやってしまったりする事があります。そうすると、子どもはますます考えなくなり、やることが嫌になります。「わからないからやって」ときたら、

※「どこがわからないの？」

※「どうやるんだろうね。一緒に考えてみようね。」

子どものそばにいて、一緒に考えちょっと手を貸してあげます。そして、ヒントを与えて「あっ、わかった」と子どもに気づかせるように接しましょう。そばにいて、一緒に考えてあげるとやる気になります。

「まだできないの。かしてみなさい。」と、考えている場面を取り、親がやってしまうことが重なると、初めは「これで、いいのかな」と思っていた子どもも、やる気をそがれます。しだいに大人に依存するようになり、自分では何もやらない子どもに変わっていきます。

「子育ては、抱きしめて、突き放して、見守る」と昔のことばにありますが、抱きしめてばかり、突き放してばかりでは育ちません。少し距離をおいて温かい目で見守ることが大切です。日々の生活の中で、子どもがいろいろ考えて行動し、試行錯誤することを増やしましょう。

「あれかな」「これかな」

「どうしたらいいんだろう」

「こうしたらどうだろう」と、繰り返し行うことで考える習慣がつきます。いろいろな考えの中から、行動に移し、うまくいかなければ別のことを考えるでしょう。問題が克服できたとき「やったあ」と喜び、満足感が得られ、とても嬉しいのです。

教育委員会では、子育てや家庭教育について学ぶための家庭教育学級を実施しています。子育てについての講座や親子で一緒に楽しめる講座を計画しております。詳細については、お尋ね下さい。

教育委員会　生涯学習室
電話55－2120

健康通信

「骨粗しょう症」

骨粗鬆症の「粗」は“あらい”という意味で、しょうは「鬆」と書き“す”とも読みます。「すのはいった大根」というときの“す”と同じです。骨粗しょう症は大根ではなく骨に“す”が入った状態を指します。

骨は18歳頃をピークに、年をとるごとに減っていきます。骨の量が2～3割も減ってしまうと骨の構造が弱くなって骨折を起こしやすくなります。骨折は寝たきりの原因の第3位なので、健康な老後のための重要なポイントであることがわかります。

骨粗しょう症は他の生活習慣病と同じように、症状をあらわさずに進行していきます。症状がでるのは更年期以降が多いようです。たとえば立ち上がりや、重いものを持ったとき、背中や腰が痛むといった自覚症状や、お子さんたちに「お母さんの背中が曲がってきた。」といわれたり、背が縮んできたら骨粗しょう症かもしれません。もっと進行してくると、転んだだけで骨折したり、何もしないのに背骨（脊椎）の一部がスカスカになってつぶれるという骨折（圧迫骨折）をおこすこともあります。

骨は硬く、できた骨は変化しないと思いがちですが、実際は他の身体の細胞と同じように絶えず新陳代謝をしています。ところが骨のもとになるカルシウムが不足したり骨をつくるためのホルモンが不足してくると、骨を作る量よりも壊す量が上回り骨に“す”が入ってきます。

骨粗しょう症は閉経期以降の女性や高齢の男性に多く見られますが、栄養や運動が不足している若い人もかかる可能性があります。若いときから弱い骨に、年齢の進行に伴う骨量の自然減が加わると、平均よりも若い年齢から骨粗しょう症になる危険が増すでしょう。

骨粗しょう症は直接生命を脅かす病気ではありませんが、自立した老後の生活のためには避けて通れない課題です。高齢期になる前に一度骨量を図ってみることをお勧めします。

（保健福祉課健康推進室）

資料館 歴史

お伊勢参り（6）

●連載167

古市の伊勢音頭

「伊勢に行きたい
　伊勢路が見たい
　せめて一生に一度でも」

と伊勢音頭に歌われたように伊勢参りは、庶民にとってあこがれの旅でした。

二十五日、二十六日と雨天で逗留した泰輔一行は、御師の手代から、退屈でしょうからと古市へ誘われます。

遊廓として栄えた伊勢の古市の名物は、妓楼の大広間で連日繰り広げられた遊女の踊り子たちによる伊勢音頭のショーです。今風に言えば、ニューヨークへ行ったら本場ブロードウェイのミュージカルをぜひ。と言ったところでしょうか。

さて、桜花楼へ上がった泰輔一行の様子が、「伊勢詣」には、くわしく書かれています。

まず、案内された踊りの座敷には二階から二階へ反橋がかかり、渡ろうとすると、拍子木が鳴り、二十畳の大広間の回廊から欄干がせり出し、上から提灯が五十ばかり、いっせいに下がります。座敷はたくさんの燭台で照らされ、まるで昼のようです。

毛氈座布団の敷かれた観覧席に座れば、お茶に菓子、音頭の歌詞が書かれた桜の摺り物が台に載せられ出てきます。

また拍子木が鳴ると、三味線を持った芸子が現れ、いんぎんにあいさつしてから伊勢音頭を歌い出します。すると回廊の左右から、三十名ばかりの踊り子たちが登場。白無垢二つ重ね、中は緋ちりめん、白綸子に桜の花模様を散らしたうちかけというおそろいの衣装に身をつつみ、歌に合わせてかろやかに手踊りを始めます。また拍子木の音で、もとの左右に引きとります。その優美さは、まさに別世界。

「うち揃う踊りをここに見よし野の　さくらさくらといふてほめけり」

一行はその夜はここに泊まりました。いや一日だけでなく三日間もです。実は「伊勢詣」の記述には、二十七日、二十八日のことが何も書かれていません。二十六日に桜花楼に上がったあと、次は二十九日、坊に立ち帰って逗留。という記述です。何も書かれなかったのは、書くのを差し控える何かがあったということです。その理由は言わずもがなでしょう。いつの時代でも旅先ではめをはずす男性は多いようです。

その夜は、皆、夢見心地で、これから回る西国の話などしながら眠りにつきました。

旅の本音とたてまえ

翌四月一日は、いよいよ伊勢を出立する日です。坊にて別れの馳走などがあり、少々遅れての出立です。

さて、これで伊勢参りという大義名分は終えました。しかし、旅の本文はこれからです。当時、伊勢参りといえば、関西、西国観光、そして中仙道経由の帰国というパターンが定着していました。当時の川柳にこんな句があります。

「伊勢参宮　大神宮にもちょっと寄り」

伊勢参りという名目で窮屈な日常から開放される旅に出ることができたからには、できるだけ名所を回って、うまいものを食べて、大いに楽しもう。こんなチャンスは二度とない、といわんばかりの大旅行が、伊勢参りを流行させることにもなったのです。

泰輔一行は、まず奈良に向かいました。まだ旅の行程の3分の1に過ぎません。

（続く）

生涯学習 みんなで学ぼう

「養生訓を読む教室」



養生訓（原書）

健康で長生きできる事は、皆さんがとても関心を持つ事です。
３００年前に書かれた「養生訓」の著者 貝原益軒は、５０歳以上生きれば長生きとされた時代に、８０歳以上の長寿を保ち、様々な地域を紀行して紀行文を出すなど、健康（長寿）は心の持ちようと実践だということを自ら実証された方です。



古文書に親しみながら

公民館では5月１９日から、この「養生訓」を手本に変体仮名の読み方や、漢方の知識を学び、健康に対する工夫について語ろうという「養生訓を読む教室」を開催しています。
サークル「古文書を読む会」の北川清作さんを講師に教室が進められています。「養生訓」はこれからの高齢化社会に多くの示唆を与えてくれると考えられます。

問い合わせ先　Tel 55－4151　中央公民館

わんぱく登場



遥　人くん（０歳８カ月）
〔富永　和之さん　第３子　両向〕

誰にでも「かなこの赤ちゃんだよ！」と紹介してくれる小さいお姉ちゃん、いつも大騒ぎでかわいがってくれてありがとう。でも、僕をひなこお姉ちゃんとりっこしないでね。今はお姉ちゃんたちに面倒見てもらってるけど、今に五月人形みたいな勇ましい男になってお姉ちゃんたちを守ってあげるからね。

桜だより

～病害虫の予防～

桜の季節も終わり、ケムシの季節到来です。

すでに、５月上旬には、オビカレハの発生が確認されており、桜の枝にくもの巣状に巣を作り、葉を食害していました。

そしてこれから初秋にかけて目立ってくるのが、モンクロシャチホコとアメリカシロヒトリです。

まずモンクロシャチホコは、８月上旬になると葉の裏に産み付けた卵からふ化し、数十匹で群れをつくり葉を食べます。幼虫の体の色は最初赤褐色ですが、老熟すると黒色になり５㎝くらいの体長になります。

モンクロシャチホコが発生した樹木の下には、多量の黒色の糞が散乱してすぐにわかります。

次にアメリカシロヒトリですが、８月中旬頃に発生し集団で葉を食いつくし隣の枝に移動し同じように食害を続けていきます。

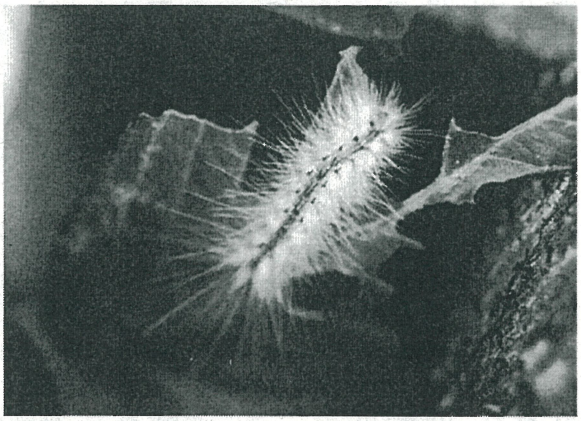
（対処方法）

どちらも、発生初期の防除が重要になってきます。

共に巣を見つけたら、広がる前に枝ごと切除して処分するか、葉にかたまっている時期に探し出して殺虫剤の噴霧により駆除します。

殺虫剤は、持続的食毒作用の長い「カルホス」乳剤による散布がもっとも効き目があり、予防効果もあります。

いずれにしても早期発見、早期駆除が大切です。



アメリカシロヒトリ幼虫

B&G NEWS

B&G海洋センタープール夏季監視員

≪海洋センターでは、プールの監視員を下記のとおり募集しています。≫

☆業務内容　プールの監視及び清掃　☆勤務期間　７／２２（土）～８／２７（日）
☆募集人員　３名　２０歳～６０歳代までの泳げる方　＊勤務日・時間は応談
☆勤務時間及び賃金　①１０:００～１７:００　時給　大人８００円・大学生７００円
②１８:００～２１:００　時給　大人９００円・大学生８００円
☆提出書類　履歴書　☆申込締切　６月３０日（金）　☆面接　平成１８年７月１日（土）

◆申込み問い合わせ　鋸南町Ｂ＆Ｇ海洋センター　℡５５－４４１１

あの子もこの子もきょなんの子

（４月２４日から５月２５日迄の届分）
おめでとう！

名前	生年月日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆福原　綾子（あやこ）ちゃん	平成１８年４月１２日	宏一・ひろみさん（第１子）	中佐久間	元気で明るく優しい子に育ってね
☆齋藤　好希（よしき）くん	平成１８年４月１３日	智也・理穂さん（第１子）	中原	健康ですくすく育って下さい
☆矢野　史穏（しおん）ちゃん	平成１８年５月１日	雅史・美智代さん（第３子）	本郷	元気で優しい子になって下さい

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。

一部希望に添えない場合もあります

◇総務企画課 広報係
電話５５－４８０１

人の動き・・・・・

世帯数	３，７６６世帯	（＋１）
人口	９，９６１人	（－２１）
うち男	４，７９１人	（－１９）
女	５，１７０人	（－２）

５月１日現在（前月比）

編集後記

各小学校で苗づくりや田植えが行われ、稲作体験の時期になりました。私が小学生の時には、稲作体験ではなく、サツマイモを植えて収穫をした記憶があります。

子どもたちにとっても貴重な体験になると思いますので続けてほしいと思います。

（K）